

SSC コマンド出力例

対象バージョン: SSC3.5、SSC3.5u1

概要

よく使用される SSC コマンドについて、実行時に表示される項目の説明をします。

マシンの表示

ssc show machine 実行時に表示されるパラメータについて説明します。

指定するオプションにより、表示されるパラメータが異なります。

◆ マシン情報

-perf、-resource、-spec、-property、-osservice、-errorevent、-summaryhint オプションを指定しない場合

[構文]

```
ssc show machine [-ms [on | off]] [[-vms [VMSName]] [-vm [VMName]] |  
[-smartgroup SmartGroupName]] [-vertical]
```

パラメータ	説明	備考
Name	マシン名を表示します。	
ManagedStatus	マシンの管理状態を表示します。	
Uuid	マシンのUUIDを表示します。	
MacAddress	マシンのMACアドレスを表示します。	
Type	マシンの種別を表示します。	
SummaryStatus	マシンのサマリステータスを表示します。	
RunningStatus	マシンの稼働ステータスを表示します。	
ExecuteStatus	マシンの実行ステータスを表示します。	
PowerStatus	マシンの電源状態を表示します。	
EventPolicyStatus	マシンのイベントポリシー状態を表示します。	
OperatingSystemStatus	マシンのOSステータスを表示します。	
HardwareStatus	マシンのハードウェアステータスを表示します。	
MaintenanceStatus	マシンのメンテナンスステータスを表示します。	
OperatingSystem	マシンのOS名を表示します。	
OperatingGroup	マシンが登録されているグループ、またはモデルまでのパスを表示します。	

パラメータ	説明	備考
HostName	マシンが割り当てられているホスト名を表示します。	

◆ 性能情報

-perf、-resource オプションを指定した場合

-perf、または -resource オプションを指定した場合には、-spec、-property、-osservice、

-errorevent、-summaryhint オプションは指定できません。

[構文]

```
ssc show machine -perf -resource [-ms [on | off]] [[-vms [VMSName]] [-vm [VMName]] | [-smartgroup SmartGroupName]] [-vertical]
```

パラメータ	説明	備考
MachineName	マシン名を表示します。	
MachineType	マシンの種別を表示します。	
Uuid	マシンのUUIDを表示します。	
MacAddress	マシンのMACアドレスを表示します。	
ProductName	マシンのモデル名を表示します。	
ModelName	マシンが登録されているモデル名を表示します。	
ManagedStatus	マシンの管理状態を表示します。	
SummaryStatus	マシンのサマリステータスを表示します。	
PowerState	マシンの電源状態を表示します。	
HardwreStatus	マシンのハードウェアステータスを表示します。	
MaintenanceStatus	マシンのメンテナンスステータスを表示します。	
RunningStatus	マシンの稼働ステータスを表示します。	
ExecuteStatus	マシンの実行ステータスを表示します。	
EventPolicyStatus	マシンのイベントポリシー状態を表示します。	
OperatingSystem	マシンのOS名を表示します。	
OSVersion	マシンのOSバージョンを表示します。	
HostName	マシンが割り当てられているホスト名を表示します。	
IPAddress	<p>マシンのIPアドレスを表示します。</p> <p><仮想マシン、仮想マシンサーバの場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮想化基盤からマシンの詳細情報が取得できた場合 <ul style="list-style-type: none"> - 仮想化基盤から取得したすべてのIPアドレスを表示 ・ 仮想化基盤からマシンの詳細情報が取得できなかった場合 <ul style="list-style-type: none"> - ホストに割り当てられている場合 ・ ホスト設定のNIC番号が1で設定されているIP 	

パラメータ	説明	備考
	アドレスを表示 - ホストに割り当てられていない場合 ・ 空を表示 <物理マシンの場合> ・ ホストに割り当てられている場合 - ホスト設定のNIC番号が1で設定されているIPアドレスを表示 ・ ホストに割り当てられていない場合 - 空を表示	
MachineSubType	仮想マシンの種別を表示します。 (例: Full Cloneの場合はFull)	-vmオプション指定時
Cost	仮想マシンのコスト値を表示します。	-vmオプション指定時
ConnectionStatus	仮想マシンサーバの接続状態を表示します。	-vmsオプション指定時
VmsTotalCost	仮想マシンサーバの総コスト数を表示します。	-vmsオプション指定時
Capacity	仮想マシンサーバで動作可能な仮想マシンのキャパシティ値を表示します。	-vmsオプション指定時
VmCount	仮想マシンサーバ上の仮想マシン台数を表示します。	-vmsオプション指定時
MemorySize (MB)	マシンのメモリサイズを表示します。	-resourceオプション指定時
Processor	マシンのプロセッサ情報を表示します。	-resourceオプション指定時
CPUCount	マシンのCPUの個数を表示します。	-resourceオプション指定時
CPULimit (MB)	マシンのCPUの最大値を表示します。	-resourceオプション指定時
CPUShare	マシンのCPUのリソース割り当て優先度を表示します。	-resourceオプション指定時
DiskUsage (GB)	マシンのディスクの使用率を表示します。	-resourceオプション指定時
Uptime	マシンの更新時間を表示します。	-perfオプション指定時
LastStartTime	マシンの起動時間を表示します。	-perfオプション指定時
CpuUsage (%)	仮想マシンサーバのCPU使用率を表示します。	-perfオプション指定時

パラメータ	説明	備考
HostCpuUsage (%)	仮想マシンのCPU使用率を表示します。	-perfオプション指定時
MemoryUsage (%)	仮想マシンサーバのメモリ使用率を表示します。	-perfオプション指定時
HostMemoryUsage (%)	仮想マシンのメモリ使用率を表示します。	-perfオプション指定時

◆ スペック情報

-spec オプションを指定した場合

-spec オプションを指定した場合には、-perf、-resource、-property、-osservice、-errorevent、-summaryhint オプションは指定できません。

[構文]

```
ssc show machine -spec [-ms [on | off]] [[-vms [VMSName]] [-vm [VMName]] |
[-smartgroup SmartGroupName]] [-vertical]
```

パラメータ	説明	備考
UnitName	マシン固有名を表示します。 未設定の場合は、マシン名を表示します。	
Uuid	マシンのUUIDを表示します。	
MachineType	マシンの種別を表示します。	
MacAddress	マシンのMACアドレスを表示します。	
SummaryStatus	マシンのサマリステータスを表示します。	
HardwareStatus	マシンのハードウェアステータスを表示します。	
VendorID	マシンのベンダー名、またはベンダーIDを表示します。 SigmaSystemCenterが管理していないEnterprise Numberの場合はベンダーIDで表示します。	
MachineTag	マシンのタグを表示します。 複数設定されている場合はスペース区切りで表示します。	
MemorySize (MB)	マシンのメモリサイズを表示します。	
Family	CPU種別を表示します。	
ClockSpeed (GHz)	CPU周波数を表示します。	
NumCores	CPUコア数を表示します。	
LogicalProcessors	論理CPU数を表示します。	
NumSockets	CPUソケット数を表示します。	
NumThreads	CPUスレッド数を表示します。	

◆ テンプレート情報

仮想マシンサーバ名を指定した場合に、マシン情報、性能情報、またはスペック情報に続けて表示されます。

[構文]

```
ssc show machine -vms VMSName [-ms [on | off]] [[-perf] [-resource] | [-spec]] [-vertical]
```

パラメータ	説明	備考
SoftwareName	テンプレート名を表示します。	
CreateTime	テンプレートの作成、もしくは編集日時を表示します。	
SoftwareCost	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を表示します。	
SoftwareType	テンプレートのタイプを表示します。	
VMServerName	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。	
SoftwareLocation	テンプレートが保存されているデータストア名を表示します。	
ImageName	テンプレートに設定されているデフォルトイメージ名を表示します。	
DiskSize (MB)	ディスクサイズを表示します。	
Description	テンプレートの説明を表示します。	

◆ データストア情報

仮想マシン名を指定した場合に、マシン情報、性能情報、またはスペック情報に続けて表示されます。

[構文]

```
ssc show machine -vm VMName [-ms [on | off]] [[-perf] [-resource] | [-spec]] [-vertical]
```

パラメータ	説明	備考
DatastoreName	データストア名を表示します。	
DatastoreSize (GB)	データストアのサイズを表示します。	
DatastoreUsage (GB)	データストアの使用量を表示します。	
DatastoreFree (GB)	データストアの空き容量を表示します。	
DatastoreUtilization (%)	データストアの使用率を表示します。	
DataCenterPath	[仮想]ビュー上のデータストアまでのパスを表示します。	

パラメータ	説明	備考
VmsManagerName	登録しているサブシステムの名前またはIPアドレスを表示します。	

◆ 構成パラメータ設定情報

仮想マシン名と-property オプションを指定した場合

-property オプションを指定した場合には、仮想マシン名を必ず指定する必要があります。また、-vm、-vertical オプション以外は指定できません。

[構文]

ssc show machine -vm VMName -property [-vertical]

パラメータ	説明	備考
PropertyName	仮想マシンに指定された構成パラメータを表示します。	
Value	仮想マシンに指定された構成パラメータの値を表示します。	

◆ サービス設定情報

仮想マシン名と-osservice オプションを指定した場合

-osservice オプションを指定した場合には、仮想マシン名を必ず指定する必要があります。また、-vm、-vertical オプション以外は指定できません。

[構文]

ssc show machine -vm VMName -osservice [-vertical]

パラメータ	説明	備考
Name	サービス名を表示します。	
DisplayName	サービスの表示名を表示します。	
StartupType	サービスの起動の種類を表示します。	
WaitForStartup	マシンの起動時にサービスの起動を確認するかどうかを表示します。	

◆ エラー、または警告のイベント情報

仮想マシンサーバ名または仮想マシン名と-errorevent オプションを指定した場合

-errorevent オプションを指定した場合には、仮想マシンサーバ名または仮想マシン名を必ず指定する必要があります。また、-vms、-vm、-vertical オプション以外は指定できません。

[構文]

```
ssc show machine <-vms VMSName | -vm VMName> -errorevent Status [-vertical]
```

パラメータ	説明	備考
Name	マシン名を表示します。	
Type	マシンの種別を表示します。	
Event	イベント番号を表示します。	
Date Time	イベントの発生時刻を表示します。	
Message	イベントの説明を表示します。	

◆ サマリーステータスの補足情報

仮想マシンサーバ名、または仮想マシン名と-summaryhint オプションを指定した場合
-summaryhint オプションを指定した場合には、仮想マシンサーバ名、または仮想マシン
名を必ず指定する必要があります。また、-vms、-vm 以外は指定できません。

[構文]

```
ssc show machine <-vms VMSName | -vm VMName> -summaryhint
```

(補足 1) マシンのステータス

Web コンソールのマシン、ホスト一覧表示画面や詳細情報画面、ssc コマンドの結果表示に各管理対象のステータスが表示されます。これらのステータスにより、マシンごとの稼動状態、障害の有無、電源のオン / オフやアクションの実行状況などを把握することができます。

SystemProvisioning が表示するステータスには以下があります。

ステータス	状態		説明	備考
	Web コンソール	ssc コマンド		
サマリステータス (SummaryStatus)	マシンの管理状態やハードウェアステータス、実行ステータスの情報をまとめたステータスです。マシンの管理状況やアクションの実行状態、ハードウェア障害の有無などマシンの概略状況を確認することができます。			
	正常	Normal	障害が発生していない状態です。	<ul style="list-style-type: none"> 監視対象マシンの障害イベントが通報された場合に、ポリシーで設定された内容に従い、対象のマシンの状態を "故障"、もしくは "一部故障" とします。 "異常終了"、"故障"、または "一部故障" のそれぞれが発生している場合は、各状態が併記されます。(例: (異常終了、故障) (異常終了、一部故障)) または、マシンが上記状態に加えてメンテナンス中の場合、メンテナンス中の状態はアイコンにて併記されます。 運用グループのホスト一覧では、マシンが割り当てられていない場合、"定義のみ" と表示されます。
	故障	Error	障害が発生している状態です。	
	一部故障	Warning	一部の機能で障害が発生している状態です。	
	異常終了	Error	ポリシーによるアクション、またはWebコンソールからの操作 (マシンの起動・停止、構成変更など) が異常終了しています。	
	処理中	Execute	マシンに対する構成変更などの操作を実行している状態です。	
	メンテナンス中	Maintenance	マシンがメンテナンスモードに設定されている状態です。 また、マシンが仮想マシンサーバの場合で、連携製品からマシンがメンテナンスモードに設定されている状態です。	
	—	—	グループで稼動する準備段階として待機している、またはハードウェアの個別ステータスに異常なステータスがある状態です。	
管理外	—	SystemProvisioning は、マシンとして認識していますが、管理対象にしていない状態です。		

ステータス	状態		説明	備考
	Web コンソール	ssc コマンド		
電源状態 (PowerStatus)	マシンの電源状態を確認することができます。			
	On	On	管理対象マシンの電源がオンの状態です。 (OSが起動途中の状態も含みます)	<ul style="list-style-type: none"> 管理対象マシンの電源がOnの状態でも、連携ソフトウェアから管理対象マシンの状態を取得できない場合は、Offと表示されます。 "サスペンド" の仮想マシンに対して移動や追加などの操作を行う場合、必ず事前に "サスペンド" を Webコンソールなどから起動操作でレジュームしてください。 仮想マシンの電源状態が "サスペンド" の場合、電源操作に失敗するため正常に動作しない場合があります。
	Off	Off	管理対象マシンの電源がオフの状態です。	
	サスペンド	Suspend	管理対象マシンの電源が一時停止の状態です。 (仮想マシンの場合のみ表示されます。)	
	Running	Running	OSが正常に稼働している状態です。 (OSステータスがオンの状態です。) sscコマンド (ssc show machine) では、オプション (-perf) 指定時に "PowerState" 欄に表示されます。	
—	—	管理対象マシンの電源が不明の状態です。		
稼働ステータス (RunningStatus)	マシンの稼働状態を確認することができます。 "リソース割り当て" などの操作により、マシンが運用グループのホストに割り当てられて稼働したときに、稼働ステータスは "On" になります。			
	On	On	グループで稼働している状態です。	
	Off	Off	グループで稼働していない状態です。	
OSステータス (OperatingSystemStatus)	マシンにインストールされたOSの稼働状態を確認することができます。			
	On	On	OSが正常に稼働している状態です。	
	Off	Off	シャットダウンなどでOSが停止している状態です。	
	—	—	マシンのOSが不明の状態です。	

ステータス	状態		説明	備考
	Web コンソール	ssc コマンド		
ハードウェアステータス (HardwareStatus)	<p>マシンの障害の有無を確認することができます。</p> <p>ESMPRO/ServerManagerや仮想マシン基盤からSystemProvisioningに障害のイベントが通報された際に、ポリシーによりステータス設定のアクションが実行され、ハードウェアステータスが "故障"、または "一部故障" になります。</p> <p>回復イベントが発生した場合、ポリシーのアクションにより、ハードウェアステータスが "正常" に戻ります。また、Webコンソールから故障状態の解除を実行すると、"正常" 状態に戻ることができます。</p> <p>状態の横に表示されている [状態詳細] をクリックすると、ハードウェアの個別ステータス一覧が表示されます。</p>			
	正常	Ready	障害が発生していない状態です。	
	故障	Faulted	障害が発生している状態です。	
	一部故障	Degraded	一部の機能で障害が発生している状態です。	
	—	—	ハードウェア状態を管理していない状態です。 Webコンソールの場合、ハードウェアの個別ステータスに異常なステータスがある場合も "—" で表示されます。	
実行ステータス (ExecuteStatus)	<p>マシンのアクション実行状態を確認することができます。</p> <p>アクションの実行結果が失敗の場合、"異常終了" が表示されます。</p> <p>アクションが実行中の場合は、"処理中" が表示されます。</p> <p>アクションが実行されていない場合は、"—" が表示されます。また、アクションの実行結果が正常終了の場合も、"—" が表示されます。</p>			
	処理中	InProcess	マシンに対する構成変更などの操作を実行している状態です。	
	異常終了	Abort	マシンに対する構成変更などの操作が異常終了した状態です。	
	—	Wait	構成変更は行われていない、または実行したアクションが正常に終了した状態です。	

ステータス	状態		説明	備考
	Web コンソール	ssc コマンド		
ポリシー状態 (PolicyStatus、 EventPolicyStatus)	<p>マシン上で発生したイベントに対応するポリシーアクションの実行可否を確認することができます。</p> <p>マシンがグループでホストに割り当てられたときに "全て有効" の状態になります。"全て有効" のときは、ポリシーアクションは実行可能です。</p> <p>ホストの割り当てが解除されたときに "全て無効" の状態になります。"全て無効" のときは、ポリシーアクションは実行されません。</p> <p>グループで稼働中のマシンに対して電源状態がオフになる操作を行ったときに "部分有効" の状態になります。"部分有効" のときは、イベント区分がマシンアクセス不可能障害のイベントに対するアクションは実行されません。これは、マシンアクセス不可能障害イベントを検知して意図しない復旧処理が動作しないようにするためです。"部分有効" の状態は、マシンの電源がオンになった際に解除され、"すべて有効" の状態に戻ります。</p>			
	全て有効	On	<p>ポリシーアクションが実行可能な状態です。</p> <p>(マシンが運用グループのホストに割り当てられている状態です。)</p>	
	全て無効	Off	<p>ポリシーアクションが実行不可な状態です。</p> <p>(マシンが運用グループのホストに割り当てられていない状態です。)</p>	
	部分有効	Partial	<p>マシンアクセス不可能障害のイベントに対するポリシーアクションが実行されない状態です。</p> <p>(マシンが運用グループのホストに割り当てられており、電源がオフの状態です。)</p>	
	—	—	<p>ポリシー状態を管理していない状態です。</p>	
メンテナンスステータス (MaintenanceStatus)	<p>マシンのメンテナンスモードの設定を確認することができます。</p> <p>マシンの保守中に自動的に意図しないアクションがマシンに対して実行されないようにするためには、メンテナンスモードを利用します。メンテナンスモードを有効にすることでポリシーアクションの実行を抑制したり、アクション実行時の自動選択の処理対象からマシンを除外したりすることができます。</p>			
	On	On	<p>マシンのメンテナンスモードが有効な状態です。</p>	
	Off	Off	<p>マシンのメンテナンスモードが無効な状態です。</p>	
管理状態 (ManagedStatus)	SystemProvisioningによるマシンの管理状態を確認することができます。			
	管理中	Managed	<p>マシンが運用で利用できる状態です。</p>	

ステータス	状態		説明	備考
	Web コンソール	ssc コマンド		
	管理外	Discovered	SystemProvisioningはマシンとして認識していますが、管理対象としていない状態です。	
	管理中(VM起動抑制)	Managed(VM startup restraint)	マシンが運用で利用できる状態ですが、マシン上で仮想マシンの起動操作が抑制された状態です。	
	管理外(VM起動抑制)	Discovered(VM startup restraint)	管理対象としていない状態で、かつマシン上で仮想マシンの起動操作が抑制された状態です。	
	利用不可	Managed	マシンは管理中ですが、マシンを登録している製品側から登録しているマシン情報が取得できない情報です。	

(補足 2) マシンの種別

SystemProvisioning が表示するマシンの種別には、以下があります。

種別		説明
Web コンソール	ssc コマンド	
Unitary	Unitary	DPMサーバに管理されているマシンです。
LogicalMachine	LogicalMachine	ブートコンフィグ (vIO) 運用により管理されている論理マシンです。
VMware、VM Server	VMware、VM Server	VMware環境の仮想マシンサーバです。
Xen、VM Server	Xen、VM Server	XenServer環境の仮想マシンサーバです。
Hyper-V、VM Server	Hyper-V、VM Server	Hyper-V環境の仮想マシンサーバです。
KVM、VM Server	KVM、VM Server	KVM環境の仮想マシンサーバです。
VMware、Virtual Machine	VMware、Virtual Machine	VMware環境の仮想マシンです。
Xen、Virtual Machine	Xen、Virtual Machine	XenServer環境の仮想マシンです。
Hyper-V、Virtual Machine	Hyper-V、Virtual Machine	Hyper-V環境の仮想マシンです。
KVM、Virtual Machine	KVM、Virtual Machine	KVM環境の仮想マシンです。
Virtual Machine	Unitary、 Lost Virtual Machine	仮想化基盤製品のマネージャ上から削除された仮想マシンです。

仮想マシンサーバがDeploymentManagerに登録されている場合、併記して表示されます。

例) Unitary, VMware, VM Server

仮想マシンサーバがブートコンフィグ (vIO) 運用されている場合、併記して表示されます。

例) LogicalMachine, VMware, VM Server

関連情報: ブートコンフィグ (vIO) 運用の環境構築方法については、「SigmaSystemCenter ブートコンフィグ運用ガイド」を参照してください。

作成日: 2016/12/26